

第2号様式（第3関係）

平成26年度第1回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成26年8月29日（金）午前10時から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
委員：岡田洋司、山本達三、岡島千衣子、渡辺博史
岡島剛、谷口富士子、石黒俊彦、山田久美子
大野純子
（欠席）一木直久、宮沢洋子、大野容子
事務局：西川徹教育長、堀場昇教育部長、
秋田和清係長、安藤彬主事
- 4 議題 (1) 平成25年度生涯学習事業報告について
(2) 平成26年度生涯学習事業の進捗状況について
(3) 平成26年度文化振興事業について
- 5 会議資料 ・平成25年度生涯学習のまとめ (資料 No. 1)
・平成26年度生涯学習学級講座受講状況について (資料 No. 2)
・平成26年度豊山町文化振興事業実施概要 (資料 No. 3)
- 6 議事内容
(司会) おはようございます。お暑い中お集まりいただきありがとうございます。それでは定刻になりましたので、平成26年度の第1回豊山町生涯学習推進審議会を行いたいと思います。なお、本委員のうち一木委員、宮沢委員、大野委員につきましては、欠席の連絡をいただいておりますので、報告させていただきます。まず資料の確認を行います。
～資料確認～
この会議の議事録はホームページに掲載されます。了承お願いします。
それでは教育長よりあいさつをいただきます。
(教育長) 本日は第一回生涯学習推進審議会にご出席していただきありがとうございます。日頃より生涯学習の推進のためにご尽力していただき、感謝申し上げます。私は四月一日から教育長に就任いたしました。松田先生の二期目三年半の後を引き継いだ形

になります。私は三年前に豊山中学校を退職しました。その前は新栄小学校におりました。七年ほど豊山町ではお世話になりました。委員としてこの会議に参加したこともあります。松田先生同様よろしく願いいたします。今年最初の会議なので、確認の意味で、この会議の設置の目的等をおはなしします。平成22年3月に策定した豊山町生涯学習まちづくり基本構想・基本計画に基づいて、生涯学習の施策に関することを審議するところであります。町長に建議する、町長の諮問機関という位置づけです。町長がよくおっしゃられる言葉に、町民一人一人が生涯を通して健康で生きがいのある人生を過ごすことが出来るよう、生涯学習を推進していくことが町づくりであると述べられています。委員の皆さまは会議の趣旨を踏まえまして、忌憚のないご意見、慎重な審議をしていただければと思います。よろしく願いいたします。

(司会) ありがとうございます。続いて委員の委嘱をいたします。机の上に委嘱状をおかせていただきました。それをもって委嘱とさせていただきます。任期につきましては平成26年4月1日から平成28年3月31日までになります。また今回が任期の最初の会議なので一言自己紹介をお願いいたします。

～自己紹介～

ありがとうございます。続いて会長、副会長の選出をお願いいたします。

(委員) 岡田先生をお願いしたいと思います。

異議なし・拍手

(司会) では岡田委員に就任のあいさつをお願いいたします。

(会長) 会長にご推薦していただき、お受けしたいと思います。今まで何年間か係わらせていただき、その反省と今期の課題について述べさせていただきます。今までやらせていただいた経験から、なかなか生涯学習は難しいというのが率直な印象です。生涯学習の位置づけは、先程教育長さんが町長さんの言葉を紹介しておられたように、町民の方が、どの年代の人も、いきいきと生活を地域の場で送るためのきっかけをつくるということです。難しいというのはこの町自体があまり大きくない、人数を集める際に分母が小さいからなかなか集めにくい、また名古屋に近いので、名古屋の方がいろいろな行事を多く行っている、町民の方もそちらへ行ってしまわれている、そんな感じがします。私は基本的に二つの柱でやるしかないと思っています。一つは町民の方が自発的に学習活動をしたい、そのことを我々が把握してお手伝いをする。これが本来の形ですが、待ってい

るだけでは現実的ではないです。そこで二つめとしてこちらから興味のあるものを提案していきます。その二つの柱で行っていきます。なかなか難しいが、町民一人一人が学びたい、スポーツをしたいという自発性をもってもらう、そのことがこれからの大きな課題だと考えています。今期はそれを意識的に考えていきたいと思っています。

(司会) ありがとうございます。続いて副会長の推薦をお願いします。

(委員) 谷口富士子さんを推薦します。

異議なし

(司会) それでは副会長を谷口委員にお願いします。

次第に沿いまして議事の方に移ります。条例により会長に議長を務めていただきます。よろしくお願いします。

(会長) 今日の議題は三つです。昨年度の講座の状況、今年度前期の講座の状況、文化振興事業についてです。まず昨年度の講座の状況について、事務局の説明をお願いします。

(事務局) ～資料1にそって説明～

(会長) 25年度に関する報告を頂きました。ご質問等がありますか。

(委員) 6番の括弧3で講座アンケートの実施とあるが、講座に参加されない方のアンケートは集めないのか。様々な理由で参加されない方の声も集めた方がよいのではないかと思います。

(会長) アンケートについては試行錯誤をしております。なぜ講座を受けないのかというアンケートは意識になかった。その辺りは検討させていただきたい。アンケート全体についての説明をお願いします。

(事務局) ただいまの質問についてですが、講座に興味のある方を対象にしております。そういった興味のない方も含めたアンケートについては生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画を作成する際に各年代男女別に100人ずつ無作為に計1000人を抽出して行いました。それに基づいて基本構想に反映しております。基本構想の改定毎に行います。

(委員) 10年という長い期間では住民のニーズを拾えないのではないかと。

(会長) 講座に対するアンケートを対象を無作為に毎年行うという考えでよろしいですか。

(委員) はい。10年では住民のニーズにあった講座が出来るかというのが疑問に思います。

(会長) 検討させていただきます。

(委員) 町民の自発性というお話がありましたが、町民の中で教えた

いという方にはどういったサポートがありますか。

(会長) ボランティアバンクという制度があります。ただ制度がうまくいっているとは言えない面もあります。

(委員) それは自発的ですか。それともこちらから依頼していますか。

(会長) 自発的に登録していただいています。

(委員) やりたいことを載せてほしいと依頼すればボランティアサークルとして掲載してもらえます。

(委員) サークルとしてではなく、個人としてやる場合、ボランティアサークルに掲載しているだけではなかなか人が集まらないのではないかと。

(委員) 積極性をもって、自分でサークルを作る形でもっていかないと上手くいきません。

(会長) やりたい方の熱意が無いと難しい。行政の係わり方も町民の方に広めていくという形しかとれていません。もう少し制度について議論していただきたいです。

他の方、何かありますか。

(委員) おはなし会ですが、夏休み期間はなしとありますが、必ず第3週はやっております。

(会長) 修正よろしくお願ひします。

(委員) アンケートの件で、前期講座実施前に行っていますが、事後に満足度等のアンケートはされていませんか。

(事務局) 一部で行っております。

(会長) なんらかの改善はあると思うので、そういったアンケートは毎回取った方がいいと思います。

(委員) これまでのアンケートは希望調査ですか。

(事務局) そういった面もあります。

(委員) 毎年似たような講座が毎年行われていて、目新しさが無いです。意欲はあるが興味のない講座ばかりだと、生きがいタウンを見なくなってしまわないでしょうか。もう少し経費を節減した形にして全戸配布するとかはどうでしょうか。

(会長) 企画の面で、そういった傾向があるとは思いますが。これまでの物に新しい物をプラスしていく、いきなりガラッと変えてしまうのは怖い。新旧が8：2になるように継続していきたい。

(委員) 怖いというのはどういう怖さなのか。

(会長) 人数が非常に少ないという怖さですね。試行錯誤の過程なので必要以上に怖がる必要はありませんが、やるからには人数来てほしいということです。今ある講座はある程度人数の集まる見込みがあります。

(委員) 今ある講座を続けると、継続して人が集まるメリットがある

が、反面興味のない人のニーズを掘り起こせないデメリットがあると思います。

(事務局) 人数が少なかった講座について、補足して説明します。前年度のパソコン教室は午前午後併せて機材をレンタルしております。その関係で午前を開講しなくても、講師料程度しか変わりませんので、2名申込があったということで開講いたしました。今年度は非常に人気がありました。通常は定員の三分の一以下が2年続いた場合、その講座は廃止になります。

(会長) 次の議題にいきたいと思います。26年度の進捗状況について説明をお願いします。

(事務局) ~説明~

(会長) かなり済んだ講座が多いですが、ご意見等ありますか。

(委員) 豊寿大学が毎回木曜日なのは理由があるのでしょうか。毎年受けたいと思っているのですが、木曜日は都合が悪くて、毎年受けられていません。

(事務局) 豊寿大学が一番古い講座なので、この講座を中心に他の講座を考えていきます。社会教育センターが月曜休館で、金曜日が土日の行事の都合で使えないこともあるので、文化系講座は火水木曜日になります。他の講座を動かさないといけないので他の曜日に動かすのは難しいと考えています。

(委員) 他の講座も動かしてはいけませんか。

(事務局) 参加者の年齢層を考えると70代の方が多いので、これまでと変えて混乱を招くのは避けたいと考えています。また研修旅行以外は聴講も受け付けています。

(会長) いきなり変えるのは難しいかもしれませんが、事前に来年は変えますという告知をしてから変えるということではできるかもしれません。検討してみてもいいと思います。

(委員) 同じ方が別の講座を受講している事もありますので過密にしない方がいいと思います。

(委員) 自己管理という意味でそういう取捨選択は受講者にしてもらうのも必要だと思います。

(会長) 一度くらい変えてみてもいいかもしれません。

(委員) 別の質問ですが、講座から発展してサークルになったものがありますか。

(事務局) 最近はありません。

(委員) 過去にはありましたか。

(事務局) 絵手紙、ファミリーバドミントン、グランドゴルフ、チェックボール等があります。

(委員) 町としては講座を受け終われば満足なのか、講座からサーク

ルを作るなどしてずっと続けてもらうのか、どういうものを目指していますか。

(事務局) 基本的には講座を契機にいろいろな活動をしていただき、生きがいタウンに載っているようなものとは別に活動していただきたいと考えています。講座はきっかけになるようにと考えています。

(委員) 自主的な活動に移行しないから、マンネリになっているのではないか。

(会長) どのような講座があればよいとお考えですか。

(委員) 大人向けの茶道やパッチワークやトンボ玉などをやってほしいです。

(委員) 町民がやってほしい講座を伝える方法が分らないです。

(委員) ふれあいひろばでアレンジフラワーを担当しているが、子どもが卒業すると大人も卒業になってしまうので、大人向けの講座もあればいいと聞きます。

(委員) 町民の声をすくい上げる方法をもっと充実させてほしいです。

(委員) 生きがいタウンのボランティアバンクにある地域活動の11人にやりたいことを伝えて、先生を探してほしいと伝えれば、探してもらえるはずです。生涯学習課まで連絡してもらえば、11人に相談して、先生を紹介してもらってサークルを開くという流れになると思います。

(委員) 数回の講座があれば、自分にあっているかそうでないか、見極めやすいと思います。

(委員) どのサークルも見学に来てくださいと言っているのですが、そういうのに参加されてはどうですか。

(委員) その一歩を踏み出すのが大変だと思います。

(委員) 人数を集めて申し込むのが大変で、そこで止まってしまいます。

(会長) いろんな形のアンケートをとって、潜在的な需要を掘り起こして、フィードバックしていくというのが一番だと思う。どういう形のアンケートがよいのかはすぐに言えないが、受けた講座や、やりたい講座について尋ねるようなアンケートを考えていく必要がある。そうすることで幅が広がると思います。また、生きがいタウンの配布の仕方も見直してみるのも必要だと思います。できるだけ町民の目につくようにする必要があります。

(委員) 限られた予算の中でやっているのだから、住民の主体的な活動としてボランティアを中心にしていった方がよいと思う。また人数が少なくて閉鎖する講座についても、ニーズが無くて人が集まらなかったのか、違う理由で、曜日や時間の条件と、一緒に

行く人がいないから行かないという人がいるかもしれない。スポーツでも重要な他者といって、一人ではなかなか活動できない。でも、一緒に活動する人がいることによって、参加する、これはスポーツじゃなくても、文化活動にも言えることではないか。人と人の結びつき方とか、一緒に行きやすいような状況を作れば、もしかしたらその講座は閉鎖しなくてもいいかもしれない。

(会長) 曜日は意外と大事かもしれません。

(委員) 行政からも声掛けとか必要だと思います。

(委員) そば打ち道場の前のフラワーアレンジメントなのですが、人数が集まらなくて2年でなくなりました。でも、お母さんたちに聞いてみると、年末のアレンジメントはないのという話を聞きます。やはり参加者の年齢層などで、曜日や時間を考えていただければと思います。

(委員) 一度廃止したのも、何年か経ったらもう一度やってみてもいいのではないか。先程ボランティアが大事という話もあったが、講座とボランティアの両輪で進めるのが大事だと思う。

(会長) 両輪が大事というのは最初に話をしたとおりなのですが、ボランティアに関しては手薄だった。どうしても講座を主に考えているところがある。ボランティアに関してもう少し整備する必要があると思う。

(委員) 行政にやらされるよりも、住民参加型で、自発的にやってもらう方がムーブメントも大きくなるし、発展していく。行政からのサービスで講座を行うよりも、住民参加型にシフトしていくというのが時代の流れです。

(委員) どのようなことをすると町民に自発性をもってやってもらえるか。

(委員) スポーツの話ですが、2000年から地域総合型スポーツクラブというのが始まっています。もともとはヨーロッパで地域密着型の自主的なクラブがあります。日本では学校と企業に支えられてスポーツは発展してきた。ベースは地域にない。ヨーロッパでは地域スポーツが盛んで、好きな人だけではなく、多くの人が係わっている。地域のスポーツクラブも裾野が広く、一番上にはプロチームがあったりする。学校や企業では、通っている間や、大企業ならよいが、そうでないと行政に頼らないといけない。どこかのクラブに所属しないと個人で体育館を使えなかったりする。行政が作るのではなく、住民が自らの意思で作って運営する、行政が体育館の指定管理を委託したりしてお手伝いしたりする。そういったNPOが愛知県内でも140か所

くらいある。そういった流れで住民の主体的な活動として組織化していく。やりたい人がいなくなってしまう場合その活動は続かなくなってしまうので組織化する必要がある。行政が組織を作ってしまうと、住民はサービスを受けるだけになってしまう。住民が組織の中にも関与することが必要。それが継続的に続いていくのがいい流れだと考える。入口として講座は良いと思うが、サークルから一歩進めるにはそういった組織作りが必要。日本で始まって10年くらい。スポーツだけでなく、文化活動も含んでいる。住民主体の組織作りをしましょうという流れになっています。

(会長) 講座できっかけを作り、面白いと思えばもう一度参加する、あるいは自分でサークルを作る。ボランティアはやりたいという声をあげてもらいます。最初は2、3人ですか。

(委員) そうですね。日本ではボランティアは完全に無償でやるという感じになっていますが、組織を維持するためには無償ではできないので、お金を取って、有償ボランティアで経費などのお金を取ってやります。

(委員) NPOとは関係ありますか。

(委員) 関係あると言えはる。NPOは非営利団体だがお金を取るのという声が聞かれますが、組織を維持するには経費がかかるので、参加費などを徴収する。講師が手弁当で、交通費なども自分持ちでは、その活動は長続きしません。

(会長) やりたいという意思がある程度まとまって必要です。その意思に対して援助することが、行政のできることでと思います。そこまで育てるのは難しいと思います。そういった仕組みを作る必要があります。また生涯教育ではなく生涯学習なので、あくまで参加する側が自発性というのがあって、もしくはこちらが引き出すのが前提にあります。上手に引き出す、大きく育てるお手伝いを合理的に、かつ限られた予算、資源の中でその辺りが問題だと思っています。その辺りの仕組みを考えた方がいいと思います。

(会長) 組織を作って運営していくことは、すごく大変。どうしても中心になって運営していく人が必要です。中心になる方があって、そこに希望を持っている人が増えていく、場合によってはその人が中心になっていくかもしれない。そういう形になっていくのが一番いいのかなと思います。意識的に仕組みを考えた方がいいと思います。ただ現実には相当難しいと思います。

(会長) ここまででなにか問題がありますか。講座に参加されている方どうですか。

- (委員) まだ2回しか出席出来ていません。
- (会長) もちろん全回出席がいいと思うのですが、都合もあると思います。
- (委員) 飾り巻き寿司ですが、すごく面白いです。でも曜日だけはあわせてほしいです。
- (会長) 毎年話題になります、豊寿大学の男女比はどうか。
- (委員) 相変わらず女性が多いです。
- (委員) 講座でやったのをビデオで撮ってそれをオンラインで流す。
- (会長) それ自体が広報活動にもなりますね。
- (委員) 公共施設でインターネットに繋がっているところはあるか。
- (事務局) ありません。
- (委員) 自宅に回線が無い人でもそういった場所で視聴できるようにできればよいと思います。
- (事務局) 最終回はとよやまチャンネルで放映されました。
- (会長) 図書館ならDVDは見ることはできると思います。YOUTUBEだけでなく、DVDで見られるようにするのは可能だと思います。
- (委員) YOUTUBEでいいのかというのはあります。豊山町のHPだとサーバーに負荷がかかると思います。また不特定多数の人に見られるとまずいという場合はIDとパスワードを発行するのがいいかと思います。ただしその場合は宣伝にはなりません。
- (会長) 欠席の方のフォローと宣伝ですので、そこは使い分けていきましょう。これまでやったことのないことなので、やり方は工夫の余地があります。前向きにやっていただきたいと思います。
- (委員) 豊寿大学とかだと慣れ親しんだテレビなどの媒体がいいと思います。
- (委員) とよやまチャンネルでは色々な行事や講座の紹介などもやっています。
- (会長) いきなり全部は難しいと思います。是非検討していただきたいと思います。
- (会長) 文化振興事業について説明をお願いします。
- (事務局) ~説明~
- (会長) 毎年の企画で満席になります。ご意見等ありますか。
- (委員) すいません、今日の会議はどのようにいかされるのでしょうか。
- (会長) 事務サイドで協議させていただきます。そして企画に反映させていただきます。

(会長) ではこれで本日の議題は全て終了しました。これで第一回の生涯学習推進審議会は終了いたします。

上記のとおり平成26年度第1回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1名が署名する

平成26年 9月 日

会 長 岡 田 洋 司

署名人 谷 口 富士子